

令和5年度第1回安城市総合計画審議会 議事（要旨）

日 時	令和5年6月15日（木） 午前10時～正午	
場 所	へきしんギャラクシープラザ大会議室	
出席者	委 員	寺田覚会長、太田千尋副会長 安田孝美委員、渥美純一委員、石川誠委員、神谷志穂委員、 酒井麻利子委員、柴田知幸委員、筒井広治委員、戸田こず恵 委員、鳥居卓司委員、近藤裕己委員、久恒美香委員 (WEB出席) 鈴木健司委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、 関係部次長、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、 健幸=SDGs課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 会長・副会長の選出 4 議題 (1) 地方創生推進交付金・拠点整備交付金に係る事業の実績報告について (2) 第9次安城市総合計画基本構想（素案）について 5 その他	

1 市民憲章唱和

2 市長あいさつ

皆さま、おはようございます。本日はご多用の中、令和5年度第1回安城市総合計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

2月に実施された市長選挙において、神谷前市長の勇退を受け、第7代の安城市長に就任いたしました。全力で職責を全うする覚悟ですので、よろしくお願いいたします。

さて、本日の総合計画審議会では、最初に地方創生関係交付金を活用した事業等の実績報告をさせていただいた後、来年度から新たにスタートする「第9次安城市総合計画」の基本構想についてご審議いただきます。総合計画は、自治体経営の最上位計画であり、本市はこれまで平成28年度にスタートした「第8次安城市総合計画」のもとで、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けたまちづくりを進めてまいりました。その前の第7次総合計画では、環境首都をテーマに掲げ、第8次計画では「幸せ」と「健康」にフォーカスしてまちづくりを進めてまいりました。

本市は、かつては農業により、そして現在ではものづくり産業に支えられ、全国的にも稀

な、活力ある地域であります。おかげをもちまして、財政的にも全国屈指の豊かさを得ることとなり、様々な行政サービスを展開してきたところでございます。

近年はコロナ禍に加え、国際情勢の不安定さや物価高騰といった私たちを取り巻く社会情勢は混沌さを増しております。さらに地域を支える自動車産業においては、EV化の波により非常に厳しい状況におかれております。また、2月に厚生労働省が昨年の出生数が80万人を下回るという速報を発表したほか、4月には国立社会保障・人口問題研究所が、50年後の日本の総人口は、現在の7割に減少し、65歳以上の人口が総人口のおよそ4割を占める将来人口推計を公表し、社会全体に将来に対する先行き不透明感や不安が広がっています。

新たに策定する第9次安城市総合計画では、これまで本市が着実に積み重ねてきた取組に加えて、先の選挙で市民の皆様とお約束したマニフェストの最重要課題と位置付けた「子育て支援」と「産業と地域経済の活性化」を始めとした魅力あるまちづくりを推進し、市民の皆様が希望に満ちた未来を感じていただけるような新しい安城の将来像を示す指針としたいと考えております。委員の皆様におかれましては、様々なご見識から活発なご意見を賜りますようお願いいたします。

以上簡単ですが、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

3 会長・副会長の選出

【健幸=SDGs課長】

健幸=SDGs課長の鈴木でございます。

昨年度まで会長をお務めいただいた加藤研一委員の交代により、会長職が現在空席となっております。

お手元の資料にあります、安城市総合計画審議会規則第3条第2項の規定により、「会長は、委員の互選によって定め、副会長は、委員のうちから会長が指名する。」とありますので、まずは会長の選出をお願いし、副会長は、会長の指名により選出いただきます。

委員のみなさまからのご意見がございましたら、お願いいたします。

【久恒美香委員】

寺田覚委員を推薦したいと思います。寺田委員は、市内の各町内会を代表しておられ、経験豊富ですので、会長職に適任だと思います。

【健幸=SDGs課長】

ただいま、寺田委員に、とのご発言がございましたが、いかがでしょうか。

【異議なし】

【健幸=SDG s 課長】

異議なし、とのお声がございました。それでは、寺田委員に会長をお願いすることとします。

続いて寺田会長に、副会長のご指名をお願いいたします。

【寺田覚会長】

副会長には、引き続き太田委員を指名しますので、よろしくをお願いいたします。

【健幸=SDG s 課長】

それでは、寺田会長、ごあいさつをお願いいたします。

【寺田覚会長】

5月に行われた町内会長連絡協議会総会にて、新たに会長になりました寺田と申します。初めての経験ばかりですが、従前は地域福祉計画の策定に参加しており、町内の役員を10年務めた経験から、地域のまちづくりや福祉については自分でも結構明るいと思っております。

それ以外にも、音楽を通じて子どもたちの健全な育成など街を明るくしたいという趣旨の活動を行っております。

今回、安城市総合計画審議会の会長として、専門家の皆さまのいろいろなご意見を聞きながらまとめていきたいと思っております。自分も市民の代表としていろいろな意見を述べていきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

4 議題

【寺田覚会長】

本日は、(1) 地方創生推進交付金・拠点整備交付金に係る事業の実績報告について、(2) 第9次安城市総合計画基本構想(素案)について、の2つの議題についてご審議いただきます。

議題(1) 地方創生推進交付金・拠点整備交付金に係る事業の実績報告について

【寺田覚会長】

それでは、議題(1) 地方創生推進交付金・拠点整備交付金に係る事業の実績報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

【寺田覚会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局より議題(1) 地方創生推進交付金・拠点整備交付金に係る事業の実績報告について説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

【近藤裕己委員】

地方創生推進関連交付金について、いくつか質問と意見を述べさせていただきます。

質問について、まず1点目、同交付金について、事業費の上限があるのでしょうか。

2点目、K P I が達成できなかった場合に、交付額が減額されるなどのペナルティがあるのでしょうか。

3点目については意見ですが、K P I の設定について、市民の今後の活動につなげるためには、指標の捉え方が市民の視点からからずれていると感じました。例えばeスポーツで考えた時に、事業に参加した市民の行動変容と言いますか次につながるような指標を用いた方が私たちも関心を持ちやすいのではないかと感じました。

【健幸=SDG s 課長】

まず、1点目の上限額について、国としてトータルの事業費の制限はございますが、個々の事業については、支出した事業費の2分の1が交付額となります。2点目のK P I 目標値が未達の場合におけるペナルティについては、特にはございません。3点目のK P I の設定についてですが、今後こうしたK P I を設定する場合には、市民の皆様にもわかりやすいような指標の設定に努めてまいりたいと思います。

【筒井広治委員】

「eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した生涯活躍のまちづくり事業」の件について、公衆無線LANのアクセスポイントを設置したとありますが、具体的にどの施設に設置したかを教えていただけますか。

【行革・政策監】

公衆無線LANのアクセスポイントについて、昨年度は市の福祉センター7か所に設置しました。これにつきましては市のDX推進計画に基づき、防災拠点となる公民館や福祉センターへの設置を進めており、昨年度で事業が完了しております。

【筒井広治委員】

利用者アンケート等で快適に使えているかどうかの把握をしていますか。

【行革・政策監】

同交付金対象事業にて高齢者向けのスマホ教室を実施しており、実際にアクセスポイントも活用しておりますが、参加された利用者から接続が悪いなどの声も出ておりませんので、快適にご利用いただいていると考えております。

【寺田覚会長】

それでは、ご意見も出尽くしたようですので、本日、委員のみなさまから出された意見を踏まえ、今後も引き続きしっかり事業を進めていただきたいと思います。

議題（2）第9次安城市総合計画基本構想（素案）について

【寺田覚会長】

続いて、議題（2）第9次安城市総合計画基本構想（素案）について、事務局より説明を

お願いいたします。

(事務局説明)

【寺田覚会長】

ただいま事務局から議題(2)第9次安城市総合計画基本構想(素案)について、説明がりましたが、ご意見やご質問がございましたらご発言願います。

【太田千尋副会長】

土地利用構想について、2点質問があります。

1点目は、今回新たに市北西部に一つ産業ゾーンが追加されるようですが、この地域は農業振興地域であり優良農地が多くある場所だと思います。ここに新たな工業団地を作るために産業ゾーンに追加する計画でしょうか。

2点目は、新城駅の南東部に農住共生検討ゾーンが新たに設定されるようですが、この地域も優良農地が多くある場所です。こちらは市街地として宅地化を進めるという意味でしょうか。産業ゾーン追加と同様に地域の営農者の経営に大きな影響が出ると思いますので、市はどのようにお考えでしょうか。

【健幸=SDGs課長】

まず1点目のご質問ですが、北部地域の産業ゾーンの追加については、現時点で市が新たな工業団地造成事業に関する具体的な計画を持っているわけではございません。

しかしながら、市内外の企業動向については、産業構造の変化や施設の老朽化といったことで事業所の移転や統廃合といった動きが活発になっております。

このような動きを受けまして、県内各市町村で工業団地の開発と企業誘致活動が活発になっており、本市としても持続的な経済発展や市内企業の流出抑止という点を考えますと、新たな企業立地の推進に向けた施策が必要であると考えております。

また、昨年度実施いたしました企業ニーズ調査では、市の北部エリアの方に企業進出ニーズが高い結果が出ております。さらに今回位置づけをさせていただいた場所に隣接する知立市側では、工業用地の開発が計画されているエリアがあり、このような周辺状況を鑑みますと、本市としましても今回のエリアに産業ゾーンを設定させていただきたいと考え、土地利用構想にてご提示させていただいております。

2点目の農住共生検討エリアの設定について、こちらは将来的な新城駅周辺エリアの更なる発展について検討する中で、市長マニフェストにもあります、名鉄本線の高架化による新たなまちづくりを検討していくエリアとして位置づけしております。

高架化事業については、隣の知立市においても事業を進めており、何十年かけた長いスパンで行われております。すぐにこの一帯の農地を宅地化するわけではございませんが、駅に近い居住に適したエリアでもございますので、将来的なこのエリアの発展に向け、鉄道の高架化を契機として市街地と農地の関わり方を含めてどのようなまちづくりがふさわしいか

について検討するエリアと位置付けておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

【太田千尋副会長】

市の考えはわかりました。しかし、基本構想素案の中では、計画的な優良農地の保全とある一方で、戦略的な市街地形成の推進や、積極的かつ計画的な産業ゾーンの配置という優良農地を減らす方向性が掲げられていることは矛盾しているように思います。

これまでも、工業団地や市街地の拡大により多くの優良農地が失われてきました。農業者の立場としては市の発展のためにはやむを得ないと思いますが、安城市は幸いにも若い営農の後継者が育っており、将来に向けた農業の継承や発展のためには、その基盤となる農地が必要であると思います。この点について、市はどのようにお考えでしょうか。

【健幸=SDGs 課長】

本市といたしましては、これまでも、農業に関しては土地改良事業、工業に関しては工業団地開発、宅地に関しては土地区画整理事業、これらの事業を土地利用のバランスを考えながら実施をしてきております。これからも計画的にまちづくりを行っていく考えと農地を保全していく考えに変わりはありません。

今回の総合計画におきましても、優良農地の保全を掲げさせていただいておりますので、今後も変わりなく農地の保全についてはしっかりと考えてまいります。しかし、一方で先ほども申しあげましたような工業用地や宅地の需要はどうしても高まってきているため、地域の4分の3を占めます市街化調整区域で検討をせざるを得ない状況です。

将来に向けた持続可能な財政運営の観点や企業と人の流出を抑制するための用地確保はどうしても必要だと考えておりますので、その点につきましては、ご理解をいただきますようお願いいたします。その上で若い営農の後継者がたくさんお見えになる状況も我々理解をしております。そのような方々に対しまして、耕作しやすいような農地の集積化、集約化の促進や、農業の生産性向上に向けた施策を推進してまいりたいと考えております。

今回工業用地として産業ゾーンを位置づけさせていただいておりますけども、こうしたエリアにできるだけ集約をさせていただき、無秩序な開発が起らないよう優良農地の保全に努めてまいりたいと考えております。

【太田千尋副会長】

ありがとうございました。市の発展のためには、農地を活用して工業団地や、市街地の拡大は必要だと理解しましたが、関係する農業者や農業関係組織への丁寧な説明も必要だと思います。農業委員会には営農者が多く出席していますので、ぜひ説明に来ていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

【健幸=SDGs 課長】

農業委員会への説明については、事務局と調整をさせていただき、できるだけ速やかにご説明をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

【寺田会長】

その他、ご意見はございますでしょうか。

【近藤裕己委員】

基本構想の骨子案について、どのような生活を送ると幸せかは人それぞれ違うかと思うのですが、それを具体化させていただいた方がイメージしやすいので、もし機会があれば1人1人幸せとは何かということをもとめ、表題のようなものを出すとよりわかりやすくなると思います。

次に目指す都市像について、子どもをキーワードにした都市像にするということで、私ももちろん少子高齢化が1番大切な部分であることは分かるんですけども、これを基本構想にご提示いただいた根拠は何であったかが知りたかったところです。私の観点でいくと市民アンケートにおける市民の意向や将来の人口ビジョンからご提示いただいていると思いますが、ご提示いただいた経緯について教えていただきたいと思います。

また、基本計画のところで、先ほどもありましたが、安城市はやはり転出が多い、定住がうまくいっていない現状で、これから少子高齢化は多分どこの地域も同じなので、安城市の持つ地域の特性をふまえた、どうしてもここで住みたいといわれる特徴を出さないと、子育て支援策などが充実しているところにみんな逃げてしまうと思います。

少子高齢化だけをメインに取り組んでいく形ではなくて、なんか安城に住んでてよかったな、住みたいとなるような、つながるきっかけを作っていただき、つながりあって最終的にそれが幸せなんだというところに持っていくためにはどうしたらいいかについてももう少し深く考えていただきたいと私は思いました。以上です。

【健幸=SDGs課長】

まず幸せを具体化する点についてですが、人それぞれいろいろ幸せの価値が異なると思います。市民の声が拾える機会がございましたら個々の具体的な幸せの価値を探っていければと考えております。

次に、子どもをキーワードとした都市像を挙げた根拠について、委員が言われるようにアンケートでも子育てに関する部分での市民の皆さまの関心が高い結果が出ております。もう一つ人口ビジョンを見ていただきましても、今の安城市の人口推移として、これまで順調に人口が増加してきたものが、新型コロナウイルスの影響もあろうかと思いますが安城市もついに人口減少の局面を迎えています。そうした中で高齢化率も21%を超えている状況であり、今後の安城市を支える人たちが転出超過である状況、安城市としてまさに今、この点について何とかしていかなければ、今後の安城市がどんどん衰退してしまう懸念がございます。今回その未来を見据えて、子どもたちがまず安城に愛着を持っていただく施策を打っていきたいと考え、今回のキーワードを子どもとさせていただきます。

ご意見があったように安城市に愛着を持ってもらうための独自性を個々の施策の中にもいろいろと織り込んで参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【寺田覚会長】

今回は骨子案ですので、これからいろいろと検討いただければと思います。

その他にご意見ございますでしょうか。

【筒井広治委員】

分科会の構成については、これで確定でしょうか。

【健幸=SDG s 課長】

分科会の構成案につきましては、皆さまいろいろな組織を代表して出てきていただいておりますので、その組織にあったような形の分科会案を提示させていただいております。移動の希望等があれば、またお聞かせいただいても変更は可能でございます。

【寺田覚会長】

移動の希望があれば申し出ていただいて、偏りの無いよう調整いただければと思います。

最後に学識経験者の方のご意見をいただければと思います。鈴木委員お願いします。

【鈴木健司委員】

これから分科会での議論が行われるかと思いますが、もう少しアンケート調査のデータを出していただかないと何とも言えないと感じました。

アンケートの取り方あるいはデータの取り方が把握できればもう少し議論が進むのではないかと思います。以上です。

【寺田覚会長】

続いて安田委員お願いします。

【安田孝美委員】

丁寧なご説明をいただきありがとうございました。

コメントの前に1点確認をお願いします。20代30代の人口の転出超過について、ここは2019年から状況が顕著になっておりますけれども、ここの分析はもうされておられますでしょうか。

【健幸=SDG s 課長】

詳細な分析はできておりませんが、新型コロナウイルス感染症の影響が始まった時点から、これまでの若い世代の転入超過傾向が急激な転出超過へと変わっている状況から、転入の減少、今までは仕事があるため転入者が多かったものが、仕事がなくなって転入者が少なくなったことが1番の原因かと分析しております。

【安田孝美委員】

ありがとうございました。人口問題はこれからの総合計画で重要となると私も感じておりまして、そういう意味で今回目指す都市像に子どもをキーワードするところは非常に合理的な看板だかと思います。この子どもをキーワードとした都市像の中で一つ申し上げたいのは、若い世代、特に中高校生に対して安城市への愛着を持ってもらうような啓蒙を行うことが大変重要になると思います。ぜひこれから具体的な計画を作る中で検討いただけるといいかと思います。

また、これは個人的な思いつきですが、私どもが研究しています自治体におけるオープンデータを中高校生に公開することにより、自分たちの街はどうなっているんだということを彼らに考えさせることも地元への愛着を増進させるための手段ではないかと感じております。

2つ目に、若い世代の転出超過について、どの地方都市でも同じなんですけれども、やはり若い女性が地元から離れていく傾向があります。これにはいろんな理由はあると思いますが、一つは産業の魅力だと私は感じています。安城市は農業先進都市ですので、この農業の魅力を若者にどう与えるかについて検討いただくことが大事かと思います。また、製造業あるいは農業におけるデジタルの活用についてもぜひ推進していただいて、若い世代の人たちにとっても魅力ある産業を育てていただきたいと感じました。以上です。

【寺田覚会長】

それでは以上で、議題（2）第9次安城市総合計画基本構想（素案）について、を終わります。

本日の議題は以上でございます。では、事務局にお返しします。

【健幸=SDGs課長】

委員のみなさまには、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

次回の総合計画審議会では、今回お示した基本構想に掲げた都市像の実現に向けた取組みの方向性となる基本計画をご審議いただきます。基本計画につきましては、事前に冊子の形で送付させていただきます。資料のボリュームが多くなり恐縮ですが、ぜひ事前にご覧いただき、お気づきの点等ございましたら、事前に事務局までお寄せください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

また、総合計画審議会委員の任期につきまして、8月に一旦満了となりますが、第9次総合計画策定に向けた大事な審議期間となりますので、現在の委員の皆様方にはなるべく継続して委員をお務めいただきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。

【司会】

ありがとうございました。次回の総合計画審議会ですが、7月21日（金）を予定しております。後日改めて、開催通知にて具体的な日時をご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回総合計画審議会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。